

# ぶどうの木



第260号 2025年 3月号

発行人 牧師 広田叔弘  
企画編集 広報委員会  
www.church.ne.jp/umegaoka/  
2025年 2月23日発行

〒155-0033  
東京都世田谷区代田 3-37-7  
TEL : 03-3414-5772  
FAX : 03-3414-5778



## 『祈りの家』

牧師 広田叔弘

わたしの家は、すべての民の祈りの家と呼ばれる。  
イザヤ書 56章 7節

3月16日(日)に教会定期総会を予定しています。今回の総会では「LED照明への切り替えの件」が上程されます。教会建物の照明をすべてLEDに交換する議案を審議するわけです。

政府は、地球温暖化対策計画(平成28年5月13日閣議決定)に基づいて、2030年までにすべての照明をLEDへ計画的に変更することを求めています。このため一般照明用の蛍光灯の製造・輸出入は、2027年までに段階的に廃止されます。計画の要点は、地球の温暖化を防ぎ、蛍光灯に用いられている水銀から健康と安全を守るなどがあります。LEDに交換した際のメリットは、環境保護とともに電気代の軽減(蛍光灯照明に比べて約半額)や照明の寿命が長いこと(蛍光灯に比べて約4倍)などがあります。社会的回避できない事案になっているとおります。

当教会の切り替えに伴う費用は約200万円です。役員会は、25年度より2年から3年の期間を設けて指定献金を募り、順次照明の切り替えを行っていきたくと考えています。

「教会」といいます。教会は十字架を掲げた建物のことではありません。主に召され、これに応える者たちの集まりです。キリストを頭とする信仰共同体が教会です。同時に、信仰共同体が集まる建物は必要です。

神学生時代のことです。奉仕に行きました。礼拝堂に入った瞬間「ジャリ」と砂をかみました。汚れていたのです。主の日の朝なのに・・・。その教会は牧師と役員会が不仲でした。私には礼拝堂の汚れが教会の傷みを象徴しているように思えました。そして、とても不快でした。主に礼拝をささげる尊い場所が、汚れていていいわけがないのです。

贅沢なことは必要ありません。しかし、適切な管理運用はしなければなりません。この度の件は、教会が社会の現実にあわせて対応していくとともに、祈りの家を守る意味があります。役員会は信仰共同体を大事に考えています。だから、建物も大事にしたいのです。

お金が必要になります。それぞれに事情があります。できるところを喜んでささげていきましょう。信仰共同体を集め、命を与えているのは主です。建物を問えば、先人たちの祈りと労苦の数々があります。今、私たちにできることを精一杯していきたい。力を合わせ、心を込めて、皆で前進していきたい。